



長崎県立佐世保北中学校・高等学校

長崎県佐世保市八幡町6番31号

TEL 0956-22-4105/FAX 0956-22-5361

URL <http://www.news.ed.jp/sasebokita-h/>



第7号 令和3年1月8日発行

子育ては大変です。思い通りになりません。だからこそ・・・。

高校教頭 満行 洋介

長女が家を離れて6年、長男については3年の時間が過ぎようとしています。夫婦で子ども達の居住地の天気予報と新型コロナウイルス感染症の陽性者数に一喜一憂しています。長女が鹿児島県に住んでいた頃には桜島の噴火を毎日心配していたのに、子どもが引っ越しをしたとたんに関心を失いました。(鹿児島のみなさんご免なさい。)今更ながら、自分もきっとこんな風に親から心配してもらっていたのだらうなと思います。手紙とはいわなくても、電話でもう少しまめに近況を報告すれば良かったと反省しています。

もう30年以上も前の話になりますが、進学のために家を離れる前夜、親が話してくれたことが心に残っています。それは私が中学生の頃の「散髪」についての話です。その当時、私が育った島原では男子中学生は頭髪を「丸刈り」にすることがなっていました。月に1回、浴室や庭にレジャーシートを敷いて、父親から電動バリカンで「丸刈り」にしてもらうことが我が家の日常の風景でした。

ご存じかもしれませんが、電動バリカンには素人でも髪の長さが調節できるようにプラスチックのアタッチメントがついています。ある日の散髪の途中、髪の毛が引っかかり電動バリカンが止まりました。父がアタッチメントを外して掃除した後にその出来事は起こりました。掃除をした後にアタッチメントを付け忘れてそのままバリカンを私の頭に当ててしまったのです。プラスチックとは違う、頭皮に当たる冷たい金属刃の感触に「あっ！」という声が私があげたのと、父が「あっ！！」と言葉を発したのはほとんど同時だったと思います。

鏡で見せてもらったところ、5～6mmで刈っていた部分と比べて、頭の中央部にほとんど髪の毛のない部分がけっこうな幅でできていました。モヒカン刈りってお分かりになりますか？その逆の状態です。とにかく「やってしまった！」という感じでした。父が「ゴメン」と謝ったのを覚えています。続けて「目立たないようにグラデーションみたいに刈ってみようか？」そんな妙な(変な?)提案をしてくれたような記憶もあるのですが、「いいから、アタッチメント無しが一番短くするやつで全体を刈ってよ。」そんな返答をしたようです。「文句言っても元には戻らないし、どうせすぐ伸びる。」くらいの感覚だったような気がします。正直、その出来事は私にとってはあまり大したことでなく、父親が話す前は記憶の底の方に沈んでいました。でも父はそのことをハッキリと覚えていて、「親を困らせないような対応してくれた」と感じたようです。そして、それを息子の心の成長と捉え、思い出深い出来事として話してくれたのでした。その話を聞いて「親はそんなことを喜んでくれるのか。」と思った記憶が残っています。私にとっては散髪で起こったその事自体より、その後のやりとりの中に子どもの成長を感じてくれた親心の方が印象深いものとなりました。今は父親の気持ちが良く分かります。普段の何気ない言葉や行動の中に子どもの成長を感じたとき、親はとても嬉しいものです。

振り返ると我が家の子ども達も、色々なことをやらかしてくれました。(とてもここには書けません・・・)思い悩み、寝つくことのできない夜を何回か過ごしました。子どもは思い通りにならないということ、身をもって感じました。でも時々子ども達から思いがけない喜びも与えてもらいました。(本当に時々でした。)でも、自分自身がそうであったように、我が家の子どもたちも親にささやかな、でもかけがえのない喜びを与えたことに気づいていなかったのかもしれない。もっとその都度、言葉にして伝えれば良かったと後悔しています。もしかしたら伝えてもある年齢にならないと理解できなかったのかもしれない。それでも、伝えた方が良かったのではないかとこの頃考えます。

逆のことも感じています。親は子ども達が想像している以上に子どもの心の動きを気にしています。少なくとも、私は色々と考えた挙げ句に、いくつかの言葉を飲み込んだ記憶があります。「今は話しても理解できないかもしれない。素直な態度で聞いてくれないかもしれない。」「でも成長する中でいつか分かってくれるかもしれない。」「話そうかな?やめようかな?」親は時々(しばしば)悩みます。でも、長い目で見たら絶対に機を逃さず、その場で叱ったり、たしなめなければならぬ場面が子育てには何回かあります。

子育てについてはたくさんの後悔があります。謙遜ではありません。心底そう思っています。でも、その割に子ども達はそれぞれの場所でそれなりに生活しています。それは、親が至らなかつたところをたくさんの人達から補い、助けてもらったからです。母から「たくさんの人から抱っこしてもらった子どもは幸せになれる」という言葉を何度も聞かされました。理解できない頃は「科学的な根拠は?」と生意気なことを考えたこともあります。(本当にご免なさいです。)でも今はその言葉の言わんとするところがよく分かります。

親は子どもに対する保護監督責任をおいます。でも子育ての全ての部分を丸抱えする必要はないし、そもそもできないものだと思います。子育てには誰かに手伝い助けてもらう場面があつてよいのです。特に思春期になると親ではない別の誰かが言った方が効果的一言もたくさんあるように思います。でも、親にしかならないこと、言えない一言もあります。それを使う状況になるまで、「エネルギーを温存しておこうかな」そんな心持ちが必要な場面も子育ての中にはあると振り返ってみて感じます。子どもの成長には親の愛情は必要不可欠ですが、かといって親の愛情だけで健やかに育っていくものではないようです。だから昔の人は「みんなで育てましようね」という意味も込めて「子どもは社会の宝もの」と言ったのだと思います。

佐世保北に在籍する子ども達は、地域の方々から見れば「よく育っていて羨ましいな。」という存在です。でも、言葉にされるかどうかは別として多くの保護者の皆さんは程度の差はあっても子育てに関する悩みや心配をそれぞれに抱えていらっしゃると思います。親は子どもの幸せを願っています。きっと、その思いは子ども達もある程度分かっています。でも、子どもは親の思い通りになりません。親の言葉に大人しく従わないのが子どもの子どもの所以です。特に思春期は程度の差はあれそういう時期です。大人になる過程ではないのです。だったら、大人は大人で、みんなで力を合わせて「子育て」をしていかなければならないと思います。「子育て」に関して何か問題が生じた時、声高に誰かを責めても、ほとんどの場合、それは問題解決につながらないと感じます。幸運にも私はこの仕事を通じて、関わる大人が問題を共有して知恵を出し合った結果、事態が良い方向に向かう場面に何度も出会いました。

子育ては大変です。思い通りになりません。（でも時々、いいこともあります。）だからこそ、社会全体にもう少し子育てに奮闘する大人を応援する暖かな雰囲気が出てきたらいいのかなと思います。

## 受験激励集会（高3）

高校3学年主任 福田 勝樹

佐北高は夢を見つける場所であり、夢を叶える場所でもある。そのことを考えると、一日一日の重みが増してくる時期になってきました。共通テストを間近に控えていると、不安や焦燥感に駆られる毎日です。そのような中、後輩たちから心のこもった千羽鶴・お守り、保護者の皆様からの亀山八幡宮での合格祈願済みの文房具と激励の言葉は、大きな励みになったと思います。

生徒会長からは、「先輩からのエネルギーを感じ取って、私たちも頑張ろうと思った。努力を知っているのは皆さん自身です。だからこそ、自分に自信をもって頑張ってください。」との言葉は、73回生全員の心に響きました。この会は、学校全体で、みんなで戦っているのだという気にさせてもらえます。

最後に73回生を代表して古賀夏妃さんが「後輩、保護者など多くの人から応援していただけということに改めて気づく良い機会になり、元気ややる気をもらった。皆さんの応援を力に、全力で取り組みます。」との旨を力強くお礼を述べました。

この学年は、入試制度が大きく変わることで、いろいろな情報に振り回されたり、コロナの影響で思い通りにいかないことがたくさんありました。しかし、これらの困難を乗り越えた学年です。自分で気づかないうちに強くなっています。3年間で培った力を信じて、自分自身を信じて頑張してほしいと願っています。



## 総合的な探究の時間 発表会（高1）

高校1学年主任 吉村 史朗

高校1年生は総合的な探究の時間を利用して「環境・時事問題研究」を行いました。夏休みを利用して新聞記事などをもとに自身の興味・関心のあるテーマを設定し、そのテーマに沿って「国際班」「医療班」「環境班」「地域振興班」「教育・こども班」に分かれ、グループ内での意見交換や共同作業を通じて、自身のテーマをさらに深めていきました。また、近年政府や企業も取り組んでいるSDGs（持続可能な開発目標）と自身のテーマを関連付けながらテーマ設定→課題設定→資料収集・考察→解決方法の提示を行い、その成果をグループ内で発表しました。その後グループ代表者によるクラス発表を行い、最終的にクラスのベストプレゼンを選出、12月23日に本校八幡体育館において、学年発表会を行いました。発表会ではどの代表も論理的でわかりやすいプレゼンテーションを行い、1年3組木田一捺さんの「食品ロスを減らそう～飢餓で苦しむ人を助けるために～」が最優秀プレゼンに選ばれました。今回の活動ではすべての生徒がテーマ設定から発表までを行い、また他者とのテーマや課題の共有を行ったことで、自身の興味関心を深い考察や探究につなげる良いきっかけになりました。今後、この活動で培った力を様々な場面で活かしてもらいたいと思います。





## オンライン交流会・修学旅行（高校2学年）



高校2学年主任 米谷 朝子

去る10月28日、修学旅行で訪問する予定だったベトナムのルンテービン高校と初のオンライン交流会を実施しました。1、3、6組と2、4、5組の2グループが、それぞれ1時間英語で交流しました。両校の校長先生のあいさつの後、お互いの学校紹介や文化紹介を行いました。本校からは、理系女子による「よさこいソーラン節」の踊り、空手道部の形披露、また英語で紙芝居を行い、好評を博しました。その後は、事前に送り合った質問に英語で答える活動を行いました。緊張して思うように答えられず突然の質問に戸惑う場面もありましたが、予想以上に盛り上がりあつという間の1時間でした。各クラスのオンライン交流会委員を中心に準備を重ね、成功裏に終わることができました。これからも国際交流の機会を捉え、国際理解教育に取り組んでいきたいと思ひます。



12月8日～10日の2泊3日で、鹿児島県と熊本県に修学旅行に行きました。1日目はKAPICセンターでSDGs講座、青年海外協力隊の体験講話、そして民族館で異文化を体験しました。2日目は世界遺産もある仙巖園見学、そして知覧特攻平和会館で平和学習を行いました。館長の講話に多くの生徒が涙し、様々なことを感じその思いを葉書にしたためました。その後、鹿児島市内自主研修で鹿児島の歴史や文化について触れ、楽しい時間を過ごしました。夕食後には学年交流会を行い、笑いあり、感動ありの各クラスからの出し物に学年の和とクラスの絆が更に強くなりました。最終日は楽しみにしていたグリーンランドでの自由行動で友人と笑顔の絶えない時間を過ごし、後ろ髪を引かれながら帰路に着きました。例年と異なり、コロナ禍で感染症対策を徹底しながらの旅でしたが、全員元気で天気にも恵まれ充実した修学旅行になりました。無事に修学旅行が実施できたのも保護者の皆様のご理解とご協力のお陰です。紙面を借りてお礼申し上げます。





# 連合生徒会 (中学校)



中学生徒会 石井 晶子

例年夏に行われていた第3ブロック連合生徒会が、コロナ禍のため今年度は11月20日に行われました。この取組の目的は、新しい時代を担うリーダーの育成や生徒会活動の活性化です。本校が所属するのは第3ブロックで、祇園中、清水中、光海中、聖和中、愛宕中、本校の6校が集いました。本年度は本校がお世話校として、準備や運営をしました。本校生徒会長の豊福さんの開会の挨拶から始まり、副会長の根本君が準備したアイスブレイキングで場を和ませ、田崎君の司会で会を円滑に進めることができました。互いに学校紹介をして、活発な意見交換が行われるなど充実した交流ができました。様々なアイデアを持ち帰り、さらにパワーアップして活動していく生徒会にご期待ください。



## 輝け 北辰のごとく

## 生徒の活躍の主なものを紹介します

### <中学校>

- 第64回日本学生科学賞長崎大会 最優秀賞 山内 溪紗  
優秀賞 山田 理央
- 長崎県中学校空手道競技新人大会 男子団体形 優勝 男子空手道部

### <高校>

- 令和2年度 第30回 長崎県高等学校冬季室内水泳競技大会
 

男子400m自由形	第1位	太田 諒
男子200m自由形	第2位	太田 諒
女子50mバタフライ	第2位	前川 光音
女子100mバタフライ	第2位	前川 光音

### 1月の主な行事予定 (変更する場合があります)

日	曜	中学校	高校
1	金		
2	土		
3	日		高3共通テストプレ
4	月		↓
5	火		高3冬季補習
6	水		↓
7	木		↓
8	金	始業式・課題確認テスト(中学校)・校内実力(高校)	
9	土	中・高13①②授業・高2校内実力・検査場準備	
10	日	県立中学校入学者選抜(生徒自宅学習)	
11	月		↓
12	火		↓
13	水	生徒会新旧役員引継式	
14	木		
15	金		高3共通テスト出陣式

日	曜	中学校	高校
16	土		高3大学入試共通テスト
17	日		↓
18	月	一斉専門委員会	高3自己採点
19	火		特別編成授業開始
20	水		
21	木		
22	金		
23	土		高12対外記述 高3土曜学習会
24	日		高2対外記述
25	月	百人一首大会	高3三者面談
26	火		↓
27	水		↓
28	木		
29	金		
30	土	Z会模試	高12ハイレベル模試 高3土曜学習会
31	日		